

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473001053	事業の開始年月日	平成17年6月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	株式会社カスタムメディカル研究所		
事業所名	グループホームすみれの家		
所在地	( 242-0013 )		
	神奈川県大和市深見台1丁目10-15		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成22年10月5日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月23日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhvu-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?ICD=1473001053&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhvu-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?ICD=1473001053&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑の多い静かな立地条件の中にあり、入居者がその人らしく生活する為に、身体の不安は内科医に、心の不安は精神科医に相談し、医学的な観点での指導を受け、それを踏まえて一人一人の対応について職員が毎日話しあい皆で同じ方向性を持って介護にあたっております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 クゲスマファースト 3階		
訪問調査日	平成22年11月19日	評価機関 評価決定日	平成23年1月21日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームは、相模鉄道線および小田急江ノ島線の和和駅南口から徒歩約15分の緑に囲まれた閑静な住宅地にあります。経営母体は、介護、看護、福祉用具・医療機器販売を手がけている株式会社カスタムメディカル研究所です。

#### <事業所の優れている点>

1、職員に働きやすい職場を提供しています。従って職員の定着率に優れ、多くの熟練したスタッフを中心に、良好なコミュニケーションと、お互いが助け合うことで、職員は楽しく介護支援に従事しています。

2、提携医は、身体的対応の内科の医師と、精神面対応の精神科の医師二人が担当しております。精神科の医師からは、昼間は活動して、夜は眠ることが健康の基本であるとの指導を受け、入居者は穏やかに暮らしています。薬の処方、睡眠薬ではなく、心の安定を図ることを目的とし抗うつ薬を活用しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームすみれの家
ユニット名	つくしんぼ

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	一人一人の人格の尊重と地域との交流を保つことにより、可能な限り家庭に近い環境での生活の支援を理念とし、職員がいつでも確認できる所に掲示することで認識し実践している。	開設時からの理念を玄関と各スタッフルームに掲示しています。研修のみならず朝礼でも"人格の尊重"や"利用者の快適な生活"に関する具体的な事例を出してスタッフに投げかけをし、日々のケアへの喚起としています。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会員として行事への参加、地域コミュニティセンターの茶話会への参加、ホーム主催のすみれ祭りへの地域の方の招待等、交流の機会を多く持つよう努めている。	町内会に加入し季節ごとの清掃活動などもできる範囲で参加しています。地域の同年輩の方の交流機会に参加している利用者もいます。近隣の二つの中学校、高校の体験学習等を受け入れています。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々に認知症やグループホームについての理解を深めていただくために地域の中学生・高校生等の職場体験を受け入れている。	/	/
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の開催で、自治会の役員や民生委員・入居者ご家族・職員等がそれぞれの立場で意見を交換することで、その時々の問題解決や改善に活かしている。	地域のいろいろの立場の方、家族、職員の参加を得て偶数月開催され、活動報告や介護関連情報の提供だけでなく意見要望を受け改善につなげています。	
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議や大和市グループホーム連絡会へ参加していただき、情報をいただくことができ、わからないことが生じた時には相談に応じていただいている。	市の介護保険課、生活介護課と頻繁に連絡を取って相談し支援を得ています。健康福祉センターや大和市グループホーム連絡会の研修には積極的に参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	徘徊や事故の危険のある方の対応については、身体拘束を行うことにより生じる事故や入居者の不安について、職員が理解したうえで身守りや関わりの強化を行う等の対策で身体拘束をしない介護を実践している。	昼間は玄関に鍵を掛けていません。二階の扉にもチャイムを付けず、その方ごとの外出気分を察知し スタッフの連携での見守りをしています。ご家族から安全優先でと拘束の要望があったケースも 丁寧に説明し理解を得ることができています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者の尊厳を重視し、虐待とは身体的なもののみならず、いろいろな場面で発生することを職員が認識して介護を行うように定期的に話し合いを行っている。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者の状況により、後見人・保佐人等の必要性がある方には、ご家族との相談のうえ、司法書士の相談を受けられるように援助を行っている。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、重要事項説明書・利用契約書等を読み合わせ、ひとつひとつの項目について疑問点の確認と説明を行い、納得して署名いただくようにしている。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にてご意見をいただいた時には、会議の議題とし、職員間でも話し合いをしたうえで、運営推進会議を通して報告を行う等、ご意見を開示するように努めており、玄関にはご意見箱の設置を行っている。	運営に関する家族からの意見を面会時や、運営推進会議の場で意見などを頂き易いように工夫しています。そこでの意見から、ホームページを見やすく改定したり、また、連絡帳に返信欄を設けるなどの改善をしたこともあります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼や会議の際に職員の要望等を聞き、月1回の管理者会議において運営者に報告し、回答を職員に伝えている。	管理者は、職員との日々の会話や、朝礼、申し送りノートなどから職員の運営に関する要望を把握し、毎月開催の管理者会議で部門統括と相談、経営者の判断を仰ぎ、その結果を朝礼などを通じて職員に報告しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の就労条件を把握し、それを踏まえて平等性を欠くことのないよう配慮した環境、条件を整えている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内においては月1回の研修が行われており、すべての職員がその資料について回覧し、外部の研修については情報を開示し、個々の力量に合わせた研修への参加のために勤務体制の調整を行い、学んだことは事業所内で公表している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の管理者会議・事務員会議等にて連携を図り、大和市グループホーム連絡会においては、管理者連絡会・介護者の集い等への参加を推奨している。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所の相談をいただいた時には、ホームの見学や訪問をお願いしており、来苑出来ない方にはこちらから伺い、本人の想いを傾聴し受け止め、安心して入所していただけるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	入所の相談を受けた時に、ご家族の希望や不安についてお聞きし、問題の解決を図るように努め、安心して入所を受け入れていただけるように配慮している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所される方の状況を把握し、その方にとって最良と思われる介護を実践するとともに、外部サービス等の利用が必要な方には、事業所やサービスとの連携等を行っている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	炊事・洗濯・裁縫・園芸・・・それぞれに得意なことや出来ることを行っていたり、生活の知恵や昔ながらの体験を教えていただくことで、人生の師として尊敬の念を持って接している。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所当初より、ご家族の時間の許す限り面会においていただき、ホームに居ても家族と会える安心感を感じていただき、どのような援助やケアが必要であるかをご家族と共に考えるようにしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人の訪問に対し、面会や外出・外泊の制限を設けておらず、ご本人が電話をかけた際には電話をかけられるように援助を行うことで、入居以前の関係が途切れることのないように配慮している。	入居者の馴染みの方の訪問や、賀状などの手紙や電話の応接、買い物の支援などでして馴染みの関係を大切にしています。すみれ祭りには、多くの方々を招待しています。週に1回以前から利用しているディサービスへ麻雀をしに行かれる方もおります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者間の人間関係を見極め、対人関係の苦手な方や上手く関わることができない方が寂しさを感じることのないように声かけや援助を行い、それぞれが役割を持って、生活できるよう支援を行っている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の利用者の状況について、転居先の担当者やご家族と連絡を取り、相談に応じたり、ホームの行事等への参加のお誘いを行うなどで交流を続けている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いを知るために、一対一で関わることに努め、それぞれの思いを傾聴し、本人がどのような生活を望んでいるのか、そのために職員がお手伝いできることはどのようなことであるのか常に話し合うようにしている。	入居者の初期の行動や反応状況を、詳細に記録し、また、家族からの説明や報告を聴いて本人の希望や、意向の把握に努めています。職員は、入居者との信頼関係の構築に気を配り信頼関係ができてから希望や意向を聴き取ることには努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴や趣味・趣向等をご家族や担当ケアマネに情報をいただくとともに、幼少時や青年期の思い出等を本人からお聞きし、それぞれの方のケアのための情報として、職員間で共有している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者それぞれがご自分のペースで生活することを基本とするなかで、体調不良等のサインや心の変化などを見逃すことのないように注意を払ってケアを実践している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人の日常の希望や想いを第一に考えて、ご家族の御意向を踏まえて職員間で話し合いをし、それぞれの方にとって最良と思われるプランの作成している。</p>	<p>施設サービス計画書（１）および（２）を用いて、解決すべき課題、実現可能な生活の目標を定め、支援内容を介護記録を参照して職員全員でモニタリングし、話し合い相談し3ヶ月で見直し、6ヶ月更新をしています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録を日常の出来事、特別な出来事の項目に分け、排泄・食事・検温・水分量等を一日の記録に纏めることで、一人一人の状況の変化を見つけやすくし、早急な対応を出来、職員間の情報の共有を図ることで、計画見直しの際にも活用している。</p>	/	/
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者の状況やご家族の希望により、地域コミュニティセンターの茶話会への参加など、ホームの外における活動の支援を行っている。</p>	/	/
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域ボランティアによる定期的レクレーションや低価格での美容師のボランティアの訪問、地域コミュニティセンターの茶話会への参加等で、変化のある生活を楽しむことができるように心がけている。</p>	/	/
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>内科医と精神科医による、それぞれ2週に1回の訪問診療を基本とし、異常のあった時には本人とご家族に対し訪問医より説明を受けていただき、治療や検査について相談していただくこととしている。</p>	<p>ホームの提携医以外の以前からのかかりつけ医への通院の送迎は、緊急時を除いて家族に依頼しています。（胃力メラの定期健診や、整形外科などの診断）</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の健康管理のために、毎朝の検温、血圧測定や食事、排泄状況の観察を行い、異常時には連携クリニックに連絡し、対応についての指示をいただいている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院や退院にあたって、ご家族と共に担当医師やケースワーカーの説明を受け、必要な支援ができるように連携を保つように努めて。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の契約の際に、急変や重症化した場合における対応について説明し、入居後状況が変化した際には、かかりつけ医を交えてご家族との話し合いを行い、最善の対応ができるように努めている。	法律で許されている範囲でホームで介助支援が可能なことと、不可能なことを丁寧に説明し、同意書を貰っています。状況が変化した時には、医師、家族、職員などの関係者で相談、検討し最善の方策を講じるよう努力しています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急法について講義を受け、ホームとしての急変時や怪我に対する応急手当の勉強会を行い、119番通報や緊急時の対応に戸惑う事のないように、すぐに確認できる場所に対処法について掲示している		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災用備品を苑庭に備蓄しており、防災マップを事務所に掲示することで日々確認を行い避難場所を周知し、消防計画に基づいて防災避難訓練を定期的に行っており、近隣住民の方にも参加していただいている。	防災計画書に基づき、防災避難訓練を定期的実施しています。防災避難訓練を振り返り検証することで改善につなげようとしています。近隣の方々からの協力体制も整っています。また、防災備蓄品を庭に備蓄確保してあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は個室でプライバシーを保ち、支援を行う際は年長者としての尊敬の念をもった対応を心掛け、定期的に入居者の対応や個人情報の重要性についての話し合いを行い、意識付けを行っている。	居室への出入りや、トイレの見守りには個人の尊厳や誇りを損なわないよう十分配慮しています。職員には社内研修などで人格の尊重とプライバシー確保の周知を図っています。個人情報に記載された書類は、鍵の掛かる戸棚に格納しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中での観察において、入居者の心の変化を読み取り、それぞれの入居者と1対1での対話の時間をもち傾聴することでその方の思いや希望を知り、その思いに応えられるように心がけている。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が穏やかに過ごすことができるように、それぞれの方のペースを乱すことのないように、業務優先ではなく入居者優先の生活を保てるように支援している。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容師をご利用の方は、本人の希望にそった整髪をしていただき、こだわりの化粧品等のある方には希望する品を使用できるように支援している。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好き嫌いやアレルギー食品に留意しながら、義歯・残歯、嚥下の状況を把握して、それぞれに合った形状で食材を提供し、簡単な調理や配膳、下膳、食器洗い等の出来ることは一緒に行っていただいている。	入居者の好みなど参考に1週間分のメニューを定め、食材は専門の業者から配達して貰います。手伝いが可能な入居者には調理や、食事の準備、後片付けの協力をお願いしています。飲食店の送迎用バスを利用して外食に出かけることもあります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>介護記録の記載を食事摂取量、水分量、排泄状況を一見してわかるようにしており、必要量の摂取を促すように支援し、かかりつけ医により定期的に栄養状態のチェックを行っていただいている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>訪問歯科医により、定期的な口腔ケアとチェックを行っていただき、起床・就寝時及び毎食後には職員の見守り・援助にて口腔ケアを欠かさず行い、義歯は、毎日眠前に洗浄している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄記録により、入居者一人一人の排泄パターンを把握し、それぞれに合わせた声かけ、誘導を行うことで失禁の回数を減らし、トイレで排せつできるように支援している。</p>	<p>職員は、排泄チェック表から個人別の排泄パターンを把握しそれぞれの時間帯でのトイレ誘導に心がけています。また、その方に合わせた便秘薬を飲む時間を考察し、日中に排便を済ませよう工夫するなど、オムツ外しに取り組んでいます。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分や食物繊維の摂取、体操等において排便を促し、便秘時には腹部マッサージなどで排便を促すようにしているが、必要に応じて主治医の指示のもと、内服の服用の援助を行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴がお好きで毎日入浴したい方には、ご希望に添うよう対応し、お嫌いな方の声かけの際は、入浴剤をお好きなものにし、浴室に音楽を流すなど、楽しんで入浴していただけるように工夫している。</p>	<p>入浴は、一応週に2回午前中と決めてありますが、希望者は、週3回、夏場にはシャワーで毎日の入浴を支援しています。入浴拒否者には無理強いをせず別の見地からの誘いを工夫し支援しています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	長い間培ってきた生活のリズムを大切に、それぞれにゆったりと過ごしていただけるように配慮しつつ、昼は起きて夜は眠るという人間の基本的リズムを保てるように支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人一人の薬の効能書きがファイルして、副作用等についていつでも確認できるようにしており、処方変更時の注意についてはその都度職員間で情報を共有し、服薬の援助マニュアルに沿って支援を行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎朝の清掃や洗濯干し、配膳・下膳などを日常の仕事としており、編み物の得意な方には、行事に使用するものを編んでいただき、裁縫を得意とする方には、すそ上げや繕いものなど、それぞれの得意分野を活かした活動をしていただいている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候に合わせて、職員と共に近くの公園や町内の散策など行っており、ご家族や知人と買い物に出かけたり、近くの飲食店に出かけ、コーヒーを召し上がって来られる方など自由に外出されている。	天気のよい日には、入居者2～3人に職員が付いて町内や、公園を散歩しています。時には境川まで足を延ばすこともあります。近隣の飲食店を利用される方もおられます。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かけた際には、ご自身の買い物はご自分で支払いをしていただくように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者個人の手紙は必ずお渡しし、返事を書く際のお手伝いをしており、電話をかけたい方の援助やかかってきた電話の取り次ぎは常時対応している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は毎朝職員と入居者が一緒に清掃を行い、季節の花や季節に合わせたぬいぐるみなど入居者と職員が共同で作った作品を飾る等、季節を感じて心地よく生活できるように配慮している。	共用空間は、明るく清潔で快適に保たれています。特に建物の中心部に設置した採光用の明り取り窓が効果的です。一部の畳敷きの場所を安全上の理由からフローリングマットを敷いて使用しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂とリビングに境を設けず、広い空間の中でも孤独を感じることなく、新聞を読んだり、テレビを見たりと思いいいに過ごされている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に以前から使用していた馴染みのものを必ず一つはお持ちいただくこととしており、家具の配置等も出来る限り家庭に近い環境を作れるようにご家族に協力をお願いしている。	各居室は、明るく風通しも良く快適に保たれています。入居時の混乱防止のため、極力使いなれた馴染みの家具などを持ち込むよう支援しています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーとなっており、空間を広く配し、台所から食堂・居間が見渡せるつくりになっているため、過度に援助することなく歩行器を使用される方も自由にフロアを往来されている。		

事業所名	グループホームすみれの家
ユニット名	どんぐり

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	一人一人の人格の尊重と地域との交流を保つことにより、可能な限り家庭に近い環境での生活の支援を理念とし、職員がいつでも確認できる所に掲示することで認識し実践している		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会員として行事への参加、地域コミュニティセンターの茶話会への参加、ホーム主催のすみれ祭りへの地域の方の招待等、交流の機会を多く持つよう努めている		
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々に認知症やグループホームについての理解を深めていただくために地域の中学生・高校生等の職場体験を受け入れている		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の開催で、自治会の役員や民生委員・入居者ご家族・職員等がそれぞれの立場で意見を交換することで、その時々の問題解決や改善に活かしている		
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議や大和市グループホーム連絡会へ参加していただき、情報をいただくことができ、わからないことが生じた時には相談に応じていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	徘徊や事故の危険のある方の対応については、身体拘束を行うことにより生じる事故や入居者の不安について、職員が理解したうえで身守りや関わりの強化を行う等の対策で身体拘束をしない介護を実践している		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者の尊厳を重視し、虐待とは身体的なもののみならず、いろいろな場面で発生することを職員が認識して介護を行うように定期的に話し合いを行っている		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者の状況により、後見人・保佐人等の必要性がある方には、ご家族との相談のうえ、司法書士の相談を受けられるように援助を行っている		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、重要事項説明書・利用契約書等を読み合わせ、ひとつひとつの項目について疑問点の確認と説明を行い、納得して署名いただくようにしている		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にてご意見をいただいた時には、会議の議題とし、職員間でも話し合いをしたうえで、運営推進会議を通して報告を行う等、ご意見を開示するように努めており、玄関にはご意見箱の設置を行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼や会議の際に職員の要望等を聞き、月1回の管理者会議において運営者に報告し、回答を職員に伝えている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の就労条件を把握し、それを踏まえて平等性を欠くことのないよう配慮した環境、条件を整えている		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内においては月1回の研修が行われており、すべての職員がその資料について回覧し、外部の研修については情報を開示し、個々の力量に合わせた研修への参加のために勤務体制の調整を行い、学んだことは事業所内で公表している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の管理者会議・事務員会議等にて連携を図り、大和市グループホーム連絡会においては、管理者連絡会・介護者の集い等への参加を推奨している		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所の相談をいただいた時には、ホームの見学や訪問をお願いしており、来苑出来ない方にはこちらから伺い、本人の想いを傾聴し受け止め、安心して入所していただけるように配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所の相談を受けた時に、ご家族の希望や不安についてお聞きし、問題の解決を図るように努め、安心して入所を受け入れていただけるように配慮している		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所される方の状況を把握し、その方にとって最良と思われる介護を実践するとともに、外部サービス等の利用が必要な方には、事業所やサービスとの連携等を行っている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	炊事・洗濯・裁縫・園芸・・・それぞれに得意なことや出来ることを行っていたり、生活の知恵や昔ながらの体験を教えていただくことで、人生の師として尊敬の念を持って接している		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所当初より、ご家族の時間の許す限り面会においていただき、ホームに居ても家族と会える安心感を感じていただき、どのような援助やケアが必要であるかをご家族と共に考えるようにしている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人の訪問に対し、面会や外出・外泊の制限を設けておらず、ご本人が電話をかけたい時には電話をかけられるように援助を行うことで、入居以前の関係が途切れることのないように配慮している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者間の人間関係を見極め、対人関係の苦手な方や上手く関わることができない方が寂しさを感じることはないように声かけや援助を行い、それぞれが役割を持って、生活できるよう支援を行っている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の利用者の状況について、転居先の担当者やご家族と連絡を取り、相談に応じたり、ホームの行事等への参加のお誘いを行うなどで交流を続けている		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いを知るために、一対一で関わることに努め、それぞれの思いを傾聴し、本人がどのような生活を望んでいるのか、そのために職員がお手伝いできることはどのようなことであるのか常に話し合うようにしている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴や趣味・趣向等をご家族や担当ケアマネに情報をいただくとともに、幼少時や青年期の思い出等を本人からお聞きし、それぞれの方のケアのための情報として、職員間で共有している		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者それぞれがご自分のペースで生活することを基本とするなかで、体調不良等のサインや心の変化などを見逃すことのないように注意を払ってケアを実践している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人の日常の希望や想いを第一に考えて、ご家族の御意向を踏まえて職員間で話し合いをし、それぞれの方にとって最良と思われるプランの作成している</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録を日常の出来事、特別な出来事の項目に分け、排泄・食事・検温・水分量等を一日の記録に纏めることで、一人一人の状況の変化を見つけやすくし、早急な対応を出来、職員間の情報の共有を図ることで、計画見直しの際にも活用している</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者の状況やご家族の希望により、外部のサービスの利用し、麻雀の機会を作る等、要望に応じたサービスの支援を行っている</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域ボランティアによる定期的レクレーションや低価格での美容師のボランティアの訪問、地域コミュニティセンターの茶話会への参加等で、変化のある生活を楽しむことができるように心がけている</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>内科医と精神科医による、それぞれ2週に1回の訪問診療を基本とし、異常のあった時には本人とご家族に対し訪問医より説明を受けていただき、治療や検査について相談していただくこととしている</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の健康管理のために、毎朝の検温、血圧測定や食事、排泄状況の観察を行い、異常時には連携クリニックに連絡し、対応についての指示をいただいている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院や退院にあたって、ご家族と共に担当医師やケースワーカーの説明を受け、必要な支援ができるように連携を保つように努めて		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の契約の際に、急変や重症化した場合における対応について説明し、入居後状況が変化した際には、かかりつけ医を交えてご家族との話し合いを行い、最善の対応ができるように努めている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急法の講義を受け、ホームとしての急変時や怪我に対する応急手当の勉強会を行い、119番通報や緊急時の対応に戸惑う事のないように、すぐに確認できる場所に対処法について掲示している		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災用備品を苑庭に備蓄しており、防災マップを事務所に掲示することで日々確認を行い避難場所を周知し、消防計画に基づいて防災避難訓練を定期的に行っており、近隣住民の方にも参加していただいている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は個室でプライバシーを保ち、支援を行う際は年長者としての尊敬の念をもった対応を心掛け、定期的に入居者の対応や個人情報の重要性についての話し合いを行い、意識付けを行っている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中での観察において、入居者の心の変化を読み取り、それぞれの入居者と1対1での対話の時間をもち傾聴することでその方の思いや希望を知り、その思いに応えられるように心がけている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が穏やかに過ごすことができるように、それぞれの方のペースを乱すことのないように、業務優先ではなく入居者優先の生活を保てるように支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容師をご利用の方は、本人の希望にそった整髪をしていただき、こだわりの化粧品等のある方には希望する品を使用できるように支援している		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好き嫌いやアレルギー食品に留意しながら、義歯・残歯、嚥下の状況を把握して、それぞれに合った形状で食材を提供し、簡単な調理や配膳、下膳、食器洗い等の出来ることは一緒に行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>介護記録の記載を食事摂取量、水分量、排泄状況を一見してわかるようにしており、必要量の摂取を促すように支援し、かかりつけ医により定期的に栄養状態のチェックを行っていただいている</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>訪問歯科医により、定期的な口腔ケアとチェックを行っていただき、起床・就寝時及び毎食後には職員の見守り・援助にて口腔ケアを欠かさず行い、義歯は、毎日眠前に洗浄している</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄記録により、入居者一人一人の排泄パターンを把握し、それぞれに合わせた声かけ、誘導を行うことで失禁の回数を減らし、トイレで排せつできるように支援している</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分や食物繊維の摂取、体操等において排便を促し、便秘時には腹部マッサージなどで排便を促すようにしているが、必要に応じて主治医の指示のもと、内服の服用の援助を行っている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴がお好きで毎日入浴したい方には、ご希望に添うよう対応し、お嫌いな方の声かけの際は、入浴剤をお好きなものにし、浴室に音楽を流すなど、楽しんで入浴していただけるように工夫している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	長い間培ってきた生活のリズムを大切に、それぞれにゆったりと過ごしていただけるように配慮しつつ、昼は起きて夜は眠るという人間の基本的リズムを保てるように支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人一人の薬の効能書きがファイルして、副作用等についていつでも確認できるようにしており、処方変更時の注意についてはその都度職員間で情報を共有し、服薬の援助マニュアルに沿って支援を行っている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎朝の清掃や洗濯干し、配膳・下膳などを日常の仕事としており、編み物の得意な方には、行事に使用するものを編んでいただき、裁縫を得意とする方には、すそ上げや繕いものなど、それぞれの得意分野を活かした活動をしていただいている		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候に合わせて、職員と共に近くの公園や町内の散策など行っており、ご家族や知人と買い物に出かけたり、近くの飲食店に出かけ、コーヒーを召し上がって来られる方など自由に外出されている		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身でお金の管理ができる方には、銀行の手続きを一緒に行い、必要な分の管理をご自身でしており、職員や知人と買い物に出かけた際は、ご自身で支払いを行っていただくようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者個人の手紙は必ずお渡しし、返事を書く際のお手伝いをしており、電話をかけたい方の援助やかかってきた電話の取り次ぎは常時対応している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は毎朝職員と入居者が一緒に清掃を行い、季節の花や季節に合わせたぬいぐるみなど入居者と職員が共同で作った作品を飾る等、季節を感じて心地よく生活できるように配慮している		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂とリビングに境を設けず、広い空間の中でも孤独を感じることなく、新聞を読んだり、テレビを見たりと思いいいに過ごされている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に以前から使用していた馴染みのものを必ず一つはお持ちいただくこととしており、家具の配置等も出来る限り家庭に近い環境を作れるようにご家族に協力をお願いしている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーとなっており、空間を広く配し、台所から食堂・居間が見渡せるつくりになっているため、過度に援助することなく歩行器を使用される方も自由にフロアを往来されている		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	介護者の視点による介護計画であった為 職員優先の介護が実践されていた	職員全員が利用者様の視点に立ち、一人一人の 想いを考えた介護計画を作成することで、入居者 様が安心して居心地の良いホームであること	パーソンセンタード・ケアを学ぶ バリテーション療法を学び、実践に活かす 上記の学びと気づきを介護計画に反映し、計画に 沿ったケアを行う	6ヶ月
2	19	職員の名前が分からない 職員の異動について報告がない 等 アンケートにてご意見をいただいた	職員の名前を覚えていただくことで、ご家族が 気軽に相談や希望を云えるホームである	職員の写真をホールに貼り、ご家族や入居者様に 覚えていただけるようにする 職員の移動や入居者様の入退去については、運 営推進会議とすみれ便りにて、報告を行う	2ヶ月
3	48	レクリエーションに偏りがある	入居者様皆さんが楽しめるレクリエーションを 増やし、出来ることが多く見つけられ、日々の 生活が充実したものになる	週替わりでレクリエーションの担当を決め、それぞ れが 責任を持ち、さまざまな方法を学び、実践 する 好評なレクリエーションと受け入れ が良くないレクリエーションと記録を取り、定期的 にレクリエーションのあり方を見直していく	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。